

結婚50年金婚式を迎える 気持ちを見える形で表現するのが大切

二十七年四月三日

フル百回楽走会

593

AKIRA MUTO

4月に結婚50年、金婚式を迎えることになりました。二人は小学校の同級生、あれからもう50年も経ったとは信じられません。結婚したてのあの若いころ、妻の顔を見るだけで、心がときめいた時代がありました。ピチピチしていたふたりです。あれから50年。いま、妻の顔を見るたびに不整脈です。あの頃は、お茶をひとつ入れるにしても、心を込めていたんです。あなた、お茶が入りましたよ。あれから、50年。夫婦茶碗は、妻の方が大きいほうで飲むようになりました。昔は赤い糸で結ばれていると信じていました。あれから50年。いま、気持ちは変わりました。ふたりはいま、コードレスです。これからも気持ちよく海外ひとり旅に送り出してもらえるよう名古屋 Hilton ホテルで食事をしました。そして、食事だけでは、ちょっと足りないかなと思い、真っ赤なバラを50本贈りました。内緒にしていたので、ビックリしたようです。

自分の気持ちを見える形で表現すること、女心には、これがとても大切なことなのだそうです。最初、近所のお花屋さんにご相談したところ、真っ赤なバラは、1本350円、50本なら消費税込みで18,900円ですねと言われたので、ネットで調べ、最終的に「新鮮なバラをお値打ちに、送料無料、4,980円、1,000円プラスで赤色」というグリーンロード、楽天市場店

<http://www.rakuten.co.jp/road/> で購入しました。

最近ネットで色々購入していますが、写真プリント2L版、1枚5円や関空一沖縄・那覇、片道航空運賃、1,980円など価格破壊が進んでいます。ネットで買えばなんでも驚くほど安い今の時代、この時代の流れに置いて行かれないよう付いて行きたいものです。

